

平成29年4月1日[土]—7月30日[日]

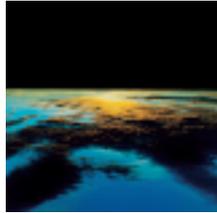
会期中無休

八ヶ岳美術館（原村歴史民俗資料館）

開館時間 = 9:00—17:00 (入館は16:30まで)

入場料 = 一般 (高校生以上) 510円 (460円)、小・中学生 250円 (200円)

※ () 内は20名以上の団体料金。諏訪6市町村の小・中学生は、パスポート、図書カード、学生証などの提示により無料で入館できます。



KUMAGAI Yukiharuru

熊谷幸治

AZECHHI Umataro

畦地梅太郎

八ヶ岳美術館企画展

Parallel Nature

パラレル・ネイチャー

自然から学ぶ4ヵ月

YAMAUCHI YU

山内悠

SUENAGA Eri

末永恵理

Event
山

ホーリー・マウンテンズ・ツアー in 八ヶ岳

出演：豊島秀樹 (クリエイター)、山内悠 (出展作家)

2016年にモエレ沼公園 (札幌) で開催された展覧会、「ホーリー・マウンテンズ 内なる聖山へ続く三つの足跡トレース」。長期に渡って山に入り、山との関係性を築く人々に焦点をあてたこの展覧会で上映された映像 (約30分) の上映を中心に、スライドを交えたトークショーを行います。

●4月25日 (火) 18:00 ~ 19:30 ●参加費：1,500円 (入館料込み)

Event
水

講演会「自然、神、人、水」 笹本正治 (長野県立歴史館館長)

●5月13日 (土) 13:30 ~ 15:00 ●参加費：無料 (要入館料)

Event
土

ワークショップ

「熊谷幸治さんと土器を作る」

講師：熊谷幸治 (出展作家) ①土を掘り、成形する 6月25日 (日) 13:30 ~ 16:00

②土器を焼く 7月22日 (土) 13:30 ~ 16:00 ●参加費：3,000円 (入館料込み) ※要予約

Event
縄文

講演会「縄文の大地観、生命観をもとめて ~武藤雄六・猪風来・岡本太郎~」

田中基 (縄文画像研究)

●7月1日 (土) 13:30 ~ 15:00 ●参加費：無料 (要入館料)

Event
鳥

講演会「諏訪の野鳥おもしろ生態学」 林正敏 (日本野鳥の会諏訪支部長)

●7月17日 (月・祝) 13:30 ~ 15:00 ●参加費：無料 (要入館料)

八ヶ岳美術館 (原村歴史民俗資料館)

〒391-0115 長野県諏訪郡原村 17217-1611

Tel.0266-74-2701

Parallel Nature

パラレル・ネイチャー

自然から学ぶ4ヵ月

私たちがふだん包まれて暮らしている自然。自然の美しさはわたしたちの周りに、時に捉えきれない程に大きく広がっています。こうした自然から、古来芸術家たちはインスピレーションを受けて作品を制作してきました。そうしてみると、私たちが目にする作品は、自然のもうひとつの姿を映し出す鏡のような装置であると言えるのではないのでしょうか。

近在の若手作家の作品を中心にした本展は、現実世界と同時に存在しているもうひとつの「自然」の姿と、それを捉える作家の眼差しの中に、改めて自然と向き合う手掛かりを探る試みです。私たちを取り巻く現実の自然からは見えなかったものが、パラレルに映し出された自然からは見えてくるかもしれません。

4ヵ月という長い会期中、展示のほかに様々な学びの場を設けます。山、水、縄文、土、鳥の5つのキーワードをもとに、各分野で活躍する研究者や作家をお招きします。「もうひとつの自然」から学ぶ4ヵ月が、自然の現在と理想とを思索するための場となることを願っています。

畦地梅太郎 AZECHI Umetaro (協力:あとりえ・う)



1902年愛媛県北宇和郡二名村(現宇和島市三間町)生まれ。上京後、内閣印刷局活版係の職に就き、仕事の空き時間に鉛版画を始める。1936年、初の木版画集『伊豫風景』を発表。山岳風景を主題に制作を続け、1950年代からは山男を題材にした作品の制作を始め、その素朴ながらも情感あふれる山男像は多くの人々の心をつかみ、「山の版画家」として現在も親しまれている。1999年、96歳で逝去。

熊谷幸治 KUMAGAI Yukiharu



1978年神奈川県生まれ。武蔵野美術大学工業デザイン学科在学中に縄文土器と出会い、土器作りを始める。2003年大学卒業後、土器作家として独立。東京での制作を経て、山梨県上野原に工房を移す。土探しから成形、焼成、仕上げまでの一連の工程を重んじて土器を制作する。土偶、土面、オブジェ、写真等、多様な表現方法を取りながらも、一貫して自然に宿る神性を表現する。

末永恵理 SUENAGA Eri



東京都出身。東京芸術大学美術学部油画科卒業、同大学大学院壁画科修了。1999年に長野県富士見町に移住し、以後八ヶ岳山麓で制作を続ける。2004年、八ヶ岳美術館にて個展「木の神、木々への想い」を開催。2010年小海町高原美術館の企画展「感覚の向こうへ」参加。近年は反復・増殖するような点描によって自然や生命の理を表現しようとしている。

山内 悠 YAMAUCHI Yu



1977年兵庫県生まれ、長野県在住。独学で写真をはじめ、スタジオアシスタントを経て、作品制作を続ける。計600日を富士山七合目の「太陽館」にて過ごす。滞在中に撮り続けた作品をまとめた写真集『夜明け』(赤々舎)を2010年に発表し、国内外で個展を開催。2014年、「太陽館」の主に焦点をあてた山小屋での日々を著した書籍『雲の上に住む人』(静山社)を刊行。近年は長野県を拠点にしなが屋久島、モンゴル等での撮影を続けている。

◎ご利用案内

八ヶ岳美術館の建物は、文化勲章受章者 村野藤吾の設計によるもので、日本建築家協会25年賞を受賞しました。曲線を多用したドーム型で、天井はレースのカーテンの絞り吊りになっています。落ち着いた柔らかな明かりの中で作品をゆったりとご覧いただけます。

◎常設展

美術作品: 清水多嘉示(彫刻・絵画)、津金雀仙(書)

考古学資料: 国指定阿久遺跡をはじめ、村内の遺跡から出土した縄文土器・石器を展示



八ヶ岳美術館 (原村歴史民俗資料館)

〒391-0115 長野県諏訪郡原村17217-1611
Tel / Fax.0266-74-2701
e-mail yatsubi1@po19.lcv.ne.jp
http://www.lcv.ne.jp/~yatsubi1/

◎交通案内

[JR茅野駅、富士見駅からバス、タクシー]
茅野駅・富士見駅からのバスの運行は季節や曜日によって変動します。必ずお問い合わせください。
[JR小淵沢駅から]
GW、夏期直通バスあり
[自動車]
中央自動車道 諏訪南インターから7km
中央自動車道 小淵沢インターから14km

